

社会保障法Ⅱ

科目ナンバリング SOL-302
選択 2単位

藤木 貴史

1. 授業の概要(ねらい)

私たちの社会では、多くの人が雇用されて労働し、賃金を得ることで生活しています。しかし、働くことだけが人生ではありません。働くこと以外にも「人間らしい豊かな生活」を送るためのサポートが必要です。社会保障法は、「セーフティーネット」を提供することで、「人間らしい豊かな生活」を実現するための法分野です。

社会保障法Ⅱでは、公的扶助・社会福祉(社会手当)に関連する分野を中心に扱います。社会保障法Ⅰと社会保障法Ⅱは連続性が強いので、連続して履修することを強く勧めます。

この授業の狙いは次の通りです。

①みなさんが、社会保障法に関する複合的知識を習得できる(カリキュラムマップ4、9)

②みなさんが、自分の直面したトラブルに対し、社会保障法に基づいた解決策を提示できる(カリキュラムマップ11)

※進度は学生の理解に応じて変更することがあります。

2. 授業の到達目標

①社会保障法の基礎的知識を習得する

②発生したトラブルについて、社会保障法に基づいた解決先を家族や友人に説明できる

3. 成績評価の方法および基準

到達目標①の計測のためにランダムに小テストを、到達目標②の計測のために期末テストをそれぞれ実施します。

[小テスト] 授業後にランダムに、LMS上でその回の授業内容を確認します(客観式)

[期末試験] 身近に発生するトラブルについて、社会保障法に基づいた解決策を提示できるかを確認します(記述式)

4. 教科書・参考文献

教科書

本多巳代子・新田秀樹 『トピック社会保障法』 不磨書房(信山社)2022年

参考文献

岩村正彦編 『社会保障判例百選[第5版]』 有斐閣・2016年

5. 準備学習の内容

[予習](1時間程度)

・LMS上からレジュメを印刷しましょう。

・レジュメに指示された部分の教科書を読みましょう。

[復習](3時間程度)

・LMS上の小テストを解きましょう。

・その回の内容を友人・家族に説明できるか試してみましょう。

6. その他履修上の注意事項

[授業を受ける姿勢]

・休まないで出席することは理解の前提となるので、その旨心がけてください。

・教科書の購入は必須です。試験の際には、原則、教科書のみ持ち込みを認めます。

[授業の進め方]

・進度は学生の理解に応じて調整されることがあります。

・小テストはLMSを通じて出題する予定です。平常点を得るためには小テストを受験する必要があります。

[関連科目]

本講義の理解のためには、①日本国憲法、②行政法、③労働法Ⅰ・Ⅱなどの基礎的知識があることが望ましいです(ただし、これらの科目未履修の学生も、この講義を履修して構いません)

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション

【第2回】 福祉国家の類型論

【第3回】 社会保障の憲法的基礎

【第4回】 介護保険(1)

【第5回】 介護保険(2)

【第6回】 公的扶助(1)

【第7回】 公的扶助(2)

【第8回】 障害者福祉(1)

【第9回】 障害者福祉(2)

【第10回】 児童福祉(1)

【第11回】 児童福祉(2)

【第12回】 社会福祉(1)

【第13回】 社会福祉(2)

【第14回】 社会保障法の歴史

【第15回】 授業内試験